

町史だより

く 小波津獅子舞 く

去る十一月三十日、小波津集落センター二十周年記念式典祝賀会で獅子舞が行われました。

獅子舞は沖繩各地に伝わる芸能の一つです。小波津の獅子舞も厄祓(イヤハラ)として古くから伝えられ、棒手、毬手、小波津手と呼ばれる三つの型があります。

今回、若い人たちが参加したこと、平成十四年に、神獅子とは別に練習用の獅子頭を購入したことで、三つの型を一度に披露することが可能になりました。これは、長い歴史を誇る小波津の獅子舞史上、はじめのことだそうです。



毬手



棒手



小波津手

「若い人が受け継いだからこそ、今回三つの型を一度に披露することができた。」と、平成元年から十五年間、小波津の獅子舞を踊り続けている小波津さんは、若手の後継者ができたことへの期待感と、三つの型を

区民に披露できたことの喜びを語ってくれました。

地域によつては、継承者の減少などにより、伝統芸能が衰退したりするところもあります。そんな中、小波津伝統芸能保存会を中心に、後継者育成と獅子舞の活動の場を広げるため、集落の守り神である神獅子とは別に、練習用の獅子頭を購入したそうです。



神獅子



練習用の神獅子

小波津獅子舞の最近の活動は、昭和六十三年の第三回と今年の第十八回全島獅子舞フェスティバルに出演したのをはじめ、平成七年にはインドネシアのバリ島で行われた民族文化芸能交流会や、平成十三年に熊本で開催された九州地区民俗芸能大会の出演など、県内外のみならず、海外でも活動の場を広げています。

先輩から後輩へと受け継がれていく伝統芸能。この繰り返しがあつて伝統芸能は活き、保存・継承、そして活動していくのだと、伝統芸能の重みを実感することができました。

是非みなさんも、伝統芸能をみたり、参加してみたいかが

でしょうか。



獅子舞の出演者

獅子舞の出演者

棒手 一人棒 小波津政春

前 比嘉忍

後 呉屋悟

毬手 一人棒 与那嶺正

前 金城司

後 神谷厚仁

小波津手 ワクヤー 小波津政春

前 与那嶺雅彦

後 小波津勝弘

三線 伊礼均 小波津勝

上原喬 小波津幸則

胴籠 与那嶺太郎

指導者 与那嶺良二

※太字は今年初参加のメンバー

資料提供／糸数善昭小波津伝統芸能保存会会長

(大城)